

平成 28 年 8 月 1 日

研究者各位

分子ライフイノベーション機構  
機構長 齊 藤 延 人  
副機構長 光 石 衛  
副機構長 福 田 裕 穂

「分子ライフイノベーション棟」入居希望の研究プロジェクト募集について

「分子ライフイノベーション棟」(以下「イノベ棟」)は、我が国の 10 年後の社会的ニーズを踏まえた革新的なイノベーションを継続的に創出するための産学連携拠点を整備することを目的として文部科学省が行う「地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」の一環として、医学部附属病院東研究棟の中庭部分に新営する 8,136m<sup>2</sup>の全学共同利用スペースの研究棟です。

このイノベ棟には、工学系研究科、理学系研究科、医学系研究科・医学部附属病院の研究プロジェクトが産学連携のために部局横断的な研究を行うスペースの他、大学と企業の研究ポテンシャルをフルに活用し、革新的なエネルギー・資源産業や医療システムを生み出す共同利用施設(電子顕微鏡、NMR、模擬手術室、CPC、ゲノム医学センター等)及び企業等が主体となる研究プロジェクトのレンタルラボスペースを確保することを予定しており、これまで「ライフ・エネルギー分子技術イノベーション拠点整備推進会議」(以下、「推進会議」)において検討を進めてきました。また、総括棟は政府が予算化した革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)による科学技術イノベーションを含めた、全学を挙げて強力で推進することを決定している拠点であることから、COI 研究推進機構と連携し総括棟の利用に係る検討を進めているところです。

今般、イノベ棟の管理体制、費用負担等についての大枠について示されたことから、学内既存組織からの利用計画提案を募集することといたしましたので、利用希望がある場合には、別紙により提出をお願いいたします。

以上

本件に関する照会・提出先

分子ライフイノベーション機構

林 TEL 03-5800-9060 E-mail:hayashis@adm.h.u-tokyo.ac.jp

川崎 TEL 03-5800-9060 E-mail:kawasakis@adm.h.u-tokyo.ac.jp

(別紙)

## 公募概要

### 1. 提出期限・提出様式

別紙様式にて事務局へ提出をお願いします。

### 2. 施設利用料について

イノベ棟のスペース利用にあたっては施設利用料と実費を徴収します。

#### (1) 施設利用料

東京大学の教職員が研究代表者である研究プロジェクト：管理部局にて設定

※施設利用料は研究代表者の所属部局により決定します。

※企業等の研究プロジェクトは学外向け公募要領を参照して下さい。

#### (2) 各研究プロジェクトの利用状況に応じてかかる実費

①研究プロジェクトが専有するスペースの光熱水料

②補助金整備による研究プロジェクトの機器消耗品・保守契約費用・調製費用

③その他研究プロジェクトが専有するスペースに必要な保有機器、消耗品費等

④共同利用施設の使用料

#### (3) 総括棟のスペース利用を申請する単位は別表「分子ライフイノベーション棟 実験・研究室募集スペース一覧」に示す募集対象の1区画あるいは組み合わせ による複数区画とします。(別表参照)

### 3. 研究プロジェクトの選考基準について

#### (1) 総括棟を利用する研究プロジェクト全体に共通する基準

①10年後の社会ニーズとなる快適・健康長寿社会に資する産業と医療を実現するために、ライフ・エネルギー分子技術の発展とイノベーションの持続的な創出に寄与し、東京大学が社会に発信するにふさわしいプロジェクト

②施設利用料等の負担が可能で、自立運営の見通しがあること

③東京大学と企業等との共同研究であり、共同研究契約を締結すること。

#### (2) 東京大学の教職員が研究代表者である研究プロジェクトに必要な基準

産学連携拠点として共同研究可能な企業と連携した研究プロジェクト

#### (3) 学外の企業等が主体となる研究プロジェクトに必要な基準

東京大学発の成果として知的財産や商標等による収益を産み出すこと

#### (4) その他、各部局が必要と認めた研究プロジェクト

いずれの研究主体もオープンイノベーションを意識し拠点施設における活動において緊密な連携を取ることから、外部との関係や交流を想定とした研究プロジェクトを選考する。

### 4. 選考及び採択について

(1) 申請内容等の審査は、総括棟の執行機関であるイノベ棟の執行機関である総括委員会の下に設置する研究推進委員会により行います。

(2) 最終審査の結果については採否にかかわらず、申請者に通知します。

(3) 採択後については、研究計画に係る施設設備等について協議を開始します。

## 分子ライフイノベーション棟 利用提案書

研究代表者名	所属： 氏名： 内線／PHS：
実務担当者	所属： 氏名： 内線／PHS：
課題名	
共同研究可能な民間企業	1. 候補企業があり、具体的な話を開始している (差支えなければ企業名： ) 2. 候補企業があるが、具体的な接触はない 3. 候補企業の有無を含め今後検討
研究が対象とする10年後の社会ニーズ	
研究活動計画概要	プロジェクト期間 年～ 年 ( 年間)
ベースとなる現在の活動内容の概要	
研究活動の財源	1. 大学運営費 (金額 円/年) 2. 外部資金 ( 名称： ) 金額 円/年
施設利用料	管理部門が定める施設利用料を支払います。( <input type="checkbox"/> 同意)
利用状況に応じてかかる実費	2. (2) に定める利用状況に応じてかかる実費を支払います。( <input type="checkbox"/> 同意)
希望スペース	部屋番号 (別表参照) ( ) 面積 ( m <sup>2</sup> ) 移転可能な現有スペースの場所 ( ) 面積 ( m <sup>2</sup> )
特殊工事	否・要 (具体的に )
設置予定機器 (主要機器のみ)	
利用予定人数	教室関係者： 名 学内関係者： 名 企業等学外関係者： 名
その他 特記事項	

※ 欄が不足する場合は適宜伸ばして記載してください。

※現時点で未定であるものについては必ずしも記載を要しません。

※現時点での施設利用料は4～6万円/(m<sup>2</sup>・年)を想定しています。